学校番号	1006

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	日本語文法Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

普段の学校生活の中で「読む、聞く、話す、書く」の四技能を身につけるように努力し、母語だけではなく積極的に日本語を使うことが日本語のコミュニケーション力の向上に一番の近道だと考えます。また、日本語能力試験の意義を理解し積極的に受験してください。

2　学習の到達目標

日本語を母語としない学習者が、生活言語と学習言語をある程度身につけた段階であることを踏まえ、進学や就職に必要な日本語の運用能力を身につける。
日常生活、日本の文化・社会などについて考え、意見を言ったり、書いたりできるような活動を行うと同時に文字語彙についても習得する。日本語能力試験各級の認定基準を満たすように取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の語彙、文法項目の理解を深めている。読むこと、書くこと、話すこと、聞くことの４技能を使ってコミュニケーションを取ったり、文を書く際に適切に活用できたりする技能を身につけている。	日本語文法表現の理解を深め既習の文法表現を活用し、文章を書き、発表などの活動を行うことができる。また、リスニング課題にも取り組んでいる。	主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 課題や小テストに積極的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第一学期	日本語	・「読む・書く・話す・聞く」の活動 ・語彙、文法項目	a:語彙、文法などの理解度 b:提出物 c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・期末考査	・課題プリント ・発表	・提出物 ・学習状況観察
	日本語能力試験対策	・文章構造の理解 ・語彙、文法項目 ・文章の読み書き	a:文法項目の理解 文法や語彙の活用状況 b:課題プリント c:音読や発表など授業への取り組み姿勢。	・小テスト ・期末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
第二学期	日本語能力試験対策	・N2、N3、それぞれのレベルに合った課題に取り組む ・文法や語彙の理解	a:総合的な日本語のスキルを身に着ける b:音読などを通して発表力と日本文化の理解に深める c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・期末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
	文章を書く	・既習語彙、文法を用いて、身近なこと、身の回りのことについて文章を作る。	a:学習プリントの取り組み b:語彙や文法知識の学習状況 c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・期末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
第三学期	文章を書く	・学習プリントを基に、既習文法、既習語彙を用いて作文を書く。	a:学習プリントの取り組み b:日本語を使って表現する c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・学年末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
	討論・日本語力確認	・既習語彙、文法を用いて、自分の考えや意見を述べる。	a:発表への取り組み b:自分の考えを表現する c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・学年末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度